

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8586  
 住 所 川崎市川崎区日進町1番地  
 氏 名 株式会社さいか屋  
 代表取締役 岡本洋三

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社さいか屋		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区小川町1番地		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	販売業務		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		428 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部総務グループ
		所在地	横須賀市大滝町1-13
	電話番号		046-845-6814
	FAX番号		046-845-6815
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,827 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,819 t-CO <sub>2</sub>	(実) 4,030 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,022 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,780 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,772 t-CO <sub>2</sub>	(実) 799 t-CO <sub>2</sub> (調) 797 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,712 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -5.3 % (調) -5.3 %	(実) 1.2 % (調) 1.2 %	(実) 79.1 % (調) 79.1 %	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	7月～9月の猛暑により、店内冷房による電気使用量が増加した事により、排出量が基準年度を上回ってしまった。
第2年度	初年度の反省を踏まえて、全店一丸となり節電に努めた結果、削減する事ができた。
第3年度	弊社では、計画期間（平成25年度～平成27年度の3年間）において排出される二酸化炭素排出量削減に努めると共にエネルギー使用量を毎年1%削減していくことを目標に設定しておりますが、今年度については、平成27年5月末で旧川崎店を閉店。平成26年6月より規模を大幅縮小し、現店舗で営業していることから目標を大きく下回った。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>○推進体制の整備 前期で成果を上げた個々の施策について、推進体制の整備を行う事により、施策の精度が増す効果が期待され、目標達成に向けた更なる強化を図る事ができる。また、前期より実施している各事業所間の温室効果ガスの抑制に向けた情報交換の回数も前期以上に増やし、現行の施策以外にも、様々な改善策を模索する。</p> <p>○空気調和の管理 店舗内はもとより、各事務所のエアコンの冷暖房温度の抑制。その方法として、より細かな温度管理を徹底し、削減を行っていく。また、関連事項として、後方部門に限らず売場部門へもクールビズ・ウォームビズを拡大実施。</p> <p>○照明設備 管球交換時には、省電力タイプへの切替へのスピードを早めて、バックヤードや事務所不在時等の不要な照明の消灯についてもこれまで以上に啓蒙および推進を図る。</p> <p>○昇降機 荷物用昇降機については、時間帯により稼働休止。その時間帯も増加を図るべく検討する。また、従業員の移動時に、近い階への移動(2UP&amp;3DOWN)については階段の利用を従業員の健康等とも関連付けをしながら、更に促進し省電力に努める。</p> <p>○事務用機器 後方部門中心に休憩時等の不使用時には、パソコン等事務用機器に限らず、照明などを含めて電源を切る事を推進する</p>
	第1年度	<p>○推進体制の整備 毎月エネルギー削減についての会議を実施し、チェックを行なっている。</p> <p>○空気調和の管理 店舗内はもとより、各事務所のエアコンの冷暖房温度の抑制。その方法として、より細かな温度管理を徹底し、削減を行っております。また、関連事項として、後方部門に限らず売場部門へもクールビズ・ウォームビズを拡大実施しております。</p> <p>○照明設備 管球交換時には、省電力タイプへの切替へのスピードを早めて、バックヤードや事務所不在時等の不要な照明の消灯についてもこれまで以上に啓蒙および推進を図っております。</p> <p>○昇降機 荷物用昇降機については、時間帯により稼働休止。その時間帯も増加を図るべく検討する。また、従業員の移動時に、近い階への移動(2UP&amp;3DOWN)については階段の利用を従業員の健康等とも関連付けをしながら、更に促進し省電力に努めております。</p> <p>○事務用機器 後方部門中心に休憩時等の不使用時には、パソコン等事務用機器に限らず、照明などを含めて電源を切る事を推進しております。</p>
	第2年度	第1年度実施事項の徹底継続実施
	第3年度	第1年度実施事項の徹底継続実施を行ってまいりましたが、平成27年5月末を持って従来の営業店舗が閉店した事により、エネルギー使用量が著しく減少したため、大規模特定事業所の要件から逸脱した事業所となりました。よって計画書の削減目標に関しては、目標を大きく上回る結果となりました。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特にございません。
第1年度	特にございません。
第2年度	特にございません。
第3年度	特にございません。

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進</li><li>2. 容器包装使用の削減</li><li>3. 環境配慮型商品の販売促進</li><li>4. 従業員のクールビズ・ウォームビズの実施</li></ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を実施しております。</li><li>2. 容器包装使用の削減を実施しております。</li><li>3. 環境配慮型商品の販売促進を実施しております。</li><li>4. 従業員のクールビズ・ウォームビズを実施しております。</li></ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を実施しております。</li><li>2. 容器包装使用の削減を実施しております。</li><li>3. 環境配慮型商品の販売促進を実施しております。</li><li>4. 従業員のクールビズ・ウォームビズを実施しております。</li></ol>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を実施しております。</li><li>2. 容器包装使用の削減を実施しております。</li><li>3. 環境配慮型商品の販売促進を実施しております。</li><li>4. 従業員のクールビズ・ウォームビズを実施しております。</li></ol>

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

## ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	869	t-CO <sub>2</sub>
(調)	853	

## イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

## ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
さいか屋川崎店	川崎市川崎区小川町1番地	5611	百貨店・総合スーパー	869 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	1
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位（第4号該当者等）

## ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--